

(別紙)

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の緊急対応型調査研究についての今回募集する研究対象

研究対象番号	研究対象	研究対象の背景と想定される試験研究の概要
2	プラムポックスウイルス(仮称) ^注 の防除に関する緊急調査研究	<p>本年4月1日、東京都青梅市のウメの樹木において、国内で初めてプラムポックスウイルスによる病気の発生が確認された。青梅市の発生園地においては、現在、ウイルスを媒介するアブラムシの防除など緊急的なまん延防止措置を講じているところである。プラムポックスウイルスは、海外において、モモやスモモなどの核果類果樹に甚大な被害を与えていることから、科学的な知見に基づき、より適切な防除・封じ込めのための措置を早急に講じ、本病の未発生地域へのまん延防止に万全を期するとともに、早期の根絶を図る必要がある。</p> <p>しかしながら、現状においては、当該ウイルスが国内へどのように侵入・拡散したのか、感染する宿主植物の範囲はどこまでなのか、媒介昆虫であるアブラムシの効果的な薬剤防除をどのように実施すればよいかなど科学的に不明な部分が多く、さらに防除の対象とすべき地域・植物を判断するための安価で確実な診断技術がないなど、適切な検疫措置の決定及び実施に不可欠な科学的知見や技術の集積が不十分な状況にある。</p> <p>このため、本課題では、</p> <ol style="list-style-type: none">① プラムポックスウイルスの侵入時期・拡散経路等の推定② プラムポックスウイルスの我が国における宿主範囲等の解明③ 発生地域におけるアブラムシの防除体系の確立及び我が国に適した安価で確実な血清学的診断技術の開発 <p>を実施することにより、適切な防除技術の早期確立及び今後の検疫措置の検討に資する。</p> <p>注) このウイルスの正式和名はまだ決定されていないため、正式英名である「plum pox virus」の音訳である「プラムポックスウイルス」を用いています。</p>

上記研究対象に係る調査研究については、本年度内に終了し、所期の成果を出すことが求められます。
なお、研究費については、基本的に1千万円を上限としています。